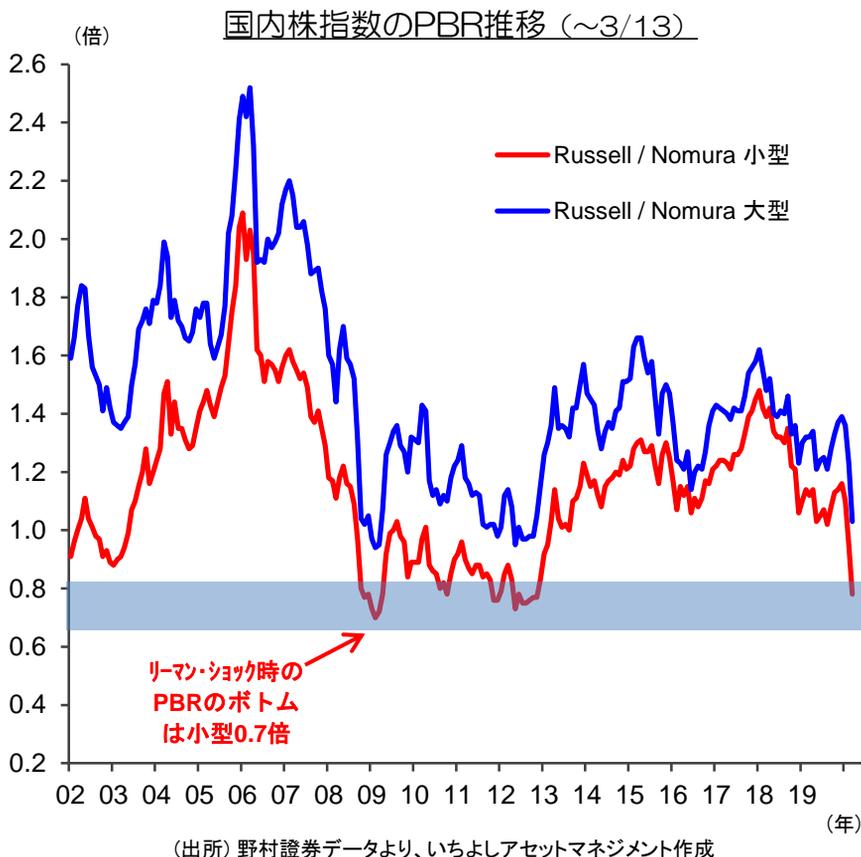


## 国内外の投資環境と国内株式市場見通し

WHO(世界保健機関)がパンデミック(感染症の世界的な大流行)を宣言し、新型肺炎の拡散懸念が一段と高まったことで世界の金融株式マーケットは混乱しています。米国株式市場において、NYダウ30種平均株価は連日の大幅安となり、2月末からの下落率は16%を越えています(3月12日現在)。恐怖指数といわれるVIX指数は一時、リーマンショック時に迫る75ポイントを越えました。リスク回避の動きから比較的安全資産である米国10年債に大きく資金が流入し、利回りは一時、0.3%台に至っています。今回のコロナショックの本質は、リスクの根源であるウイルスの拡散・収束をマーケットが織り込めないことにあります(予測不能)。従って、単なるノイズであっても過大なリスクと見なしてしまう傾向があります。当面は過度なリスクオフが継続することが予測されますが、近い将来において冷静さを取り戻すものと確信しています。

冷静さを取り戻せば、現状の混乱は収束します。つまり、マーケット参加者の投資の視点が定まるからです。パンデミックによって世界経済が大きく落ち込むことは必然で、その落ち込みを回避すべく政策が総動員されることも確実とみています。既にFRB(米連邦準備理事会)は大幅利下げに動いていますが、今後もゼロ金利政策、QE4(量的緩和政策第4弾)と金融緩和度を本当の意味で異次元に高めるものと思われます。これに日銀、ECB(欧州中央銀行)、そして中国人民銀行も追随するとみられます。さらに、主要各国で財政緩和の動きも活発化することが予想され、米トランプ大統領は給与税減税を示唆しています。日本においても大規模補正予算の策定を自民党が進めています。ポイントは、パンデミックによる景気の落ち込み以上に政策効果が期待されれば、世界的な株価は持ち直します。マーケットが冷静さを取り戻せば、過剰なまでの政策発動による景気回復効果を織り込む展開になるものと考えています。



足元の急落により、国内株式市場のPBR(株価純資産倍率)は大きく低下し、小型株指数を中心に会計上の解散価値である純資産価値である1倍を大きく割り込んで、過去のショック安時のボトム圏に達しています。

新型肺炎が世界的な景気・企業業績に与える悪影響を織り込み切れず、不確実性の強い状態が続いており、予断を許さない状況ではあるものの、中長期で成長が期待される有望銘柄群の株価は大きく下落しています。中長期投資の観点で、現状は国内株全般、特に中長期で成長が期待される中小型成長企業への注目度を高めるべき機会と認識しています。

## 『重要な注意事項』

- この資料は、投資の参考となる情報の提供を目的としたものであり、個々の投資者の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではなく、また特定ファンドの勧誘資料ではありません。
- この資料は、市場の現状や運用コンセプト等の説明資料の一部としていちよしアセットマネジメントが作成し、提供するものです。未許可での使用、複製の作成や発表は法律で禁じられております。
- この資料は、いちよしアセットマネジメントが信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて同社により作成されたものですが、過去から将来にわたってその正確性、完全性を保証するものではありません。
- この資料に掲載されたデータ・グラフ等は過去の実績またはシミュレーションであり、将来の成果を示唆、あるいは保証するものではありません。また、記載された見解等の内容はすべて作成時点でのいちよしアセットマネジメントの判断であり、今後予告なく変更されることがあります。
- 有価証券投資は、株価の変動により、または発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。投資運用によって発生する損益はすべてお客様に帰属します。したがって、預貯金とは異なり投資元本が保証されているものではなく、一定の運用成果を保証するものでもありません。

商号等： いちよしアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第426号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会